

編集 後記

編集顧問 町田 豊平 小川 秋實 秋元 成太
編集委員 村井 勝 郡 健二郎 藤岡 知昭

司馬遼太郎さんの中学時代の作文が、当時通った学校の図書館から見つかった（産経新聞 7 月 29 日）。自宅の物干し台から見た風景を作品にしたものだが、優れた観察力と豊かな表現力をもってすれば、何げない風景でもこんなに描けるのかと感心させられた。文才は天性のものだと思つづくと思う。

その司馬さんは、「文明」のことを「簡単にとりきめだけで、万人が参加できて、しかも便利であるもの」と書いている（文芸春秋）。「文明」と「文化」の違いは、カップ麺とラーメン屋にたとえられることがある。お湯をかけて何分間か待てば、多くの人が同じ味、同じ便利さを味わえるカップ麺は「文明」であり、ラーメンの味は、地方により店により、調理法も味も異なることから「文化」になるのだろう。

「文化」といえば、2 人横綱の誕生でにぎわった相撲界に、「国による文化の違いだ」だけでは語れない出来事があった。横綱朝青龍関が病欠による夏巡業の休場届けを出しながら、祖国モンゴルでサッカーに興じていたことから、2 場所の出場停止などの重い処分が下された。朝青龍関のこれまでの行動は、日本とは異なる「文化」で育ったというだけではすまされず、角界をリードする横綱としての資質が問われているのである。

名横綱、双葉山に比べるのも無粋だが、前人未到の

69 連勝が途切れた翌日、翌々日と連敗したとき、双葉山は親しい人に「我、いまだ木鶏たりえず」と電報を打っている。木鶏とは、中国の故事で、最強の闘鶏のたとえ。木彫りの鶏さながらに、動じることなく勝負に臨み、無心の境地を表す言葉である。電報は、道を極めた双葉山にして、相撲道で大切な「技と体」はまだしも、「心」はいまだ未熟であることを恥じる意味だったろう。

今、世の中は二極化が進んでいるが、強者は弱者の苦しみを顧みようとしない。リーダーの資質が問われているこの時代に、読み返したい本がある。松下幸之助さん著「指導者の条件：人心の妙味に思う」（PHP 文庫）で、古今東西のすぐれた指導者の言動を集めたものである。松下さん自らが、座右の書として折りにふれ読み返し、自分を正す資とされ、教えられ、反省してきたと述べておられる。101 条の最後に松下さんは、立派な指導者に共通していることは、謙虚さと感謝の念に厚い人であると、強調されている。

私たち医師は、社会的には指導者の立場にある。決して楽な職業とはいえないが、苦勞をしてこそ喜びを知り、患者に感謝される職業であることに誇りを持ち、いかなるときも謙虚深く医療に携わりたいものである。（郡 健二郎）

臨床泌尿器科（第 61 巻 第 10 号）（通巻 732 号）
2007 年 9 月 20 日発行（毎月 1 回 20 日発行）

定価 2,835 円（本体 2,700 円＋税 5%）
2007 年 年ぎめ予約購読料（増刊号を含む 13 冊）
41,360 円（税込・送料サービス）

発行 株式会社 医学書院
代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23
電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5709
(担当：登・渡辺・中田)
販売部直通 (03) 3817-5659・5660
ファクシミリ (03) 3815-7802

E-mail：rinpi@igaku-shoin.co.jp
振替口座 東京 00170-9-96693 番
印刷所 三報社印刷(株) 電話 (03) 3637-0005
広告申込所 (有)文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

- ・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2007, Printed in Japan.
- ・ 本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信（送信可能化権を含む）に関する許諾権は医学書院が保有しています。
- ・ 医学書院ホームページ（インターネット）は Web <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。
- ・ 「臨床泌尿器科」のページは <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/rinpi/> です。
- ・ JCLS < 日本著作出版権管理システム委託出版物 >

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に日本著作出版権管理システム（03-3817-5670）の許諾を得てください。